

電気給湯機用 減圧弁(80kPa)

形名

GT-T8F

※電気温水器専用

適用機種は、当社カタログ・給湯機の据付工事説明書等に記載してあります。

据付工事説明書 販売店・工事店様用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい工事が必要です。
工事の前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。

1.安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。



電気温水器に使用する

この製品は電気温水器専用です。他の機器には使用しないでください。

指示に従う



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。



工事作業中は手袋を着用する

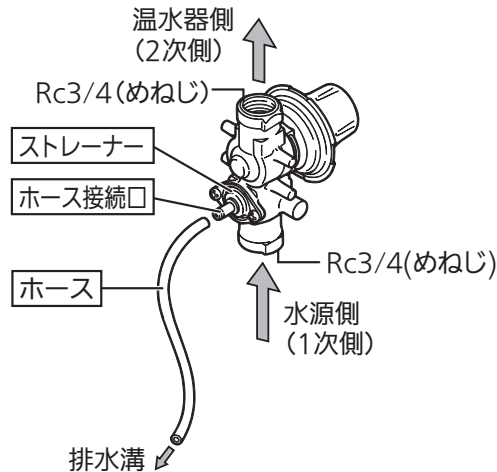
(着用しないとけがややけどの原因)

指示に従う

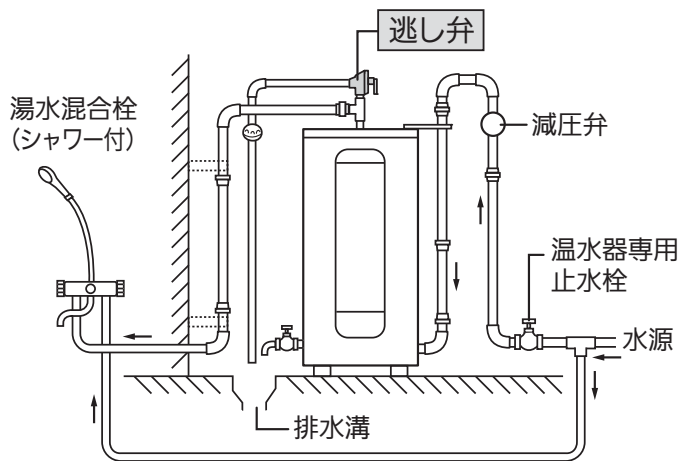
2.仕様

□ 径	Rc3/4(めねじ)
設定圧力	80kPa
その他の機能	逆止弁、負圧作動弁、ストレーナー付き、JIS規格適合品

3.各部のなまえ



4.標準配管例

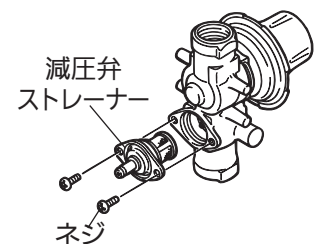


5.工事上のお願い

- この減圧弁の設定圧力は80kPaです。組み合わせる逃し弁は必ず吹き始め圧力95kPa、吹き止まり圧力87kPa以上のものを使用してください。
- 減圧弁の取り付けは以下に注意してください。
 - 流れ方向は、本体及び保温箱の矢印の向きに合わせてください。
 - 温水器本体の上面と同じ高さに取り付けてください。また、必ず逃し弁よりも低い位置に取り付けてください。
 - タテ付けでもヨコ付けでも可能です。タテ付けの場合はストレーナーの掃除しやすい向きに、ヨコ付けの場合はストレーナー部が下側になるように取り付けてください。
- この減圧弁には負圧作動弁が付いています。負圧作動弁から水が出ることがありますので、ホース(内径6mm)をホース接続口に接続して排水溝に導いてください。
- 付属の保温箱は保温工事の際、保温筒としてご使用ください。
- 工事完了後の試運転時に、減圧弁及び接続部分から水漏れがないことを確認してください。
- ストレーナーの清掃、水抜きについて、機器で具体的に説明してください。

ストレーナーの掃除方法

1. 温水器専用止水栓を閉じる
2. 逃し弁の手動レバーを5秒間立て圧力を抜き、元に戻す
3. 減圧弁のネジ2本を外し、ストレーナーを取り外す
4. ストレーナーに付いたゴミを取り除く
5. ストレーナーをネジ2本で取り付ける
6. 温水器専用止水栓を開き、水漏れの有無を確認する



水抜き

水抜きによる凍結防止を行うときに必要です。

1. 温水器専用止水栓を閉じる
2. 減圧弁のホース接続口のホースを外し、ホース接続口を押す
減圧弁2次側の水が1次側へ抜けます。
3. 使用時はホース接続口を引き出した後、温水器専用止水栓を開く

